

## 二次審査概要

(1) 技術提案書の評価項目、判断基準及び配点は以下の通りです。(合計：100 点)

評価項目		配点	評価の着目点	評価レベル
10 点	【業務の実施方針】 現場状況や工事特性を踏まえ、設計上の課題を的確に捉え、実行可能な実施方針であるか	5 点	設計上の課題を的確にとらえ、その対処方針を示した上で、実行可能な実施方針となっているか	5: 特に優れている 4: 優れている 3: 普通 2: 多少不十分である 1: 不十分である 0: 劣っている
		5 点	コスト管理について、どの程度効果的で実現性の高い提案がされているか	
10 点	【業務の実施体制】 技術者が持つ経験や能力を活かした、効果的で実効性のある体制となっているか	5 点	技術者の資格や実績から、信頼性のある実施体制となっているか	
		5 点	市内業者を有効に活用し、地域経済の活性化に寄与する体制となっているか	
10 点	【業務の実施工程】 発注者や学校、地元関係者等との意見のすり合わせを行うタイミング等が適切に計画された工程となっているか	5 点	工程表や工程管理が、実績や経験に裏付けされた実現性のあるものとなっているか	
		5 点	学校や地元関係者等との合意形成の手法が適切に計画されているか	
20 点	【特定テーマ①に対する技術提案】 「敷地を有効に活用し、良好な環境を確保する安心・安全な学校」	5 点	i) 既存施設を含めた土地利用等に配慮した円滑な動線計画	
		5 点	ii) 歩行者と車両のアプローチを明確に区分する方法	
		5 点	iii) 災害時の避難を考慮した安心・安全で機能的な敷地活用の提案	
		5 点	iv) 騒音や日照、プライバシーなど、校舎や教室等の配置について周辺環境に配慮した学校	
20 点	【特定テーマ②に対する技術提案】 「子どもたちの可能性を引き出すための多様な学習を展開できる、新しい時代の学校」	5 点	i) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学習空間の実現	的確性: 設計と条件との整合がとれており、的確性のある提案となっているか  独創性: 工学的知見に基づく独創性や付加価値のある提案となっているか  実現性: 提案内容が技術面やコスト面、経験や実績等に裏付けされており、説得力のある提案となっているか
		5 点	ii) 児童一人一人の多様な特性に配慮した、すべての児童が安心して過ごせる魅力ある居場所づくり	
		5 点	iii) 学校、家庭、地域が連携・協働して、ともに創造的な活動が展開できる共創空間を取り入れる工夫	
		5 点	iv) 学習形態や社会的な変化に対応し、ニーズに応じた改修しやすい学校	
20 点	【特定テーマ③に対する技術提案】 「経済的な建設手法」	5 点	i) 室の兼用による延べ面積の縮小や建設工期を短縮する施工計画等の建設コストを抑える方法	
		5 点	ii) 建物の目標使用年数を80年と想定した上で、建物の建築から、運営、維持管理、修繕及び解体まで考慮したライフサイクルコスト抑制のための工夫	
		5 点	iii) 工事施工中において、児童の学習環境や学校周辺地域への影響を最小限とするローリング計画の配慮や工事車両動線の計画	
		5 点	iv) 整備コストを抑えた省エネ性能向上への配慮(ZEB化など)	
10 点	【非特定テーマに対する技術提案】 「独自のテーマをひとつに示した自由提案」	5 点	独自提案に選んだテーマを評価	
		5 点	提案されたテーマについて、その的確性、実現性、独創性を考慮して総合的に評価する	